

施策の評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け				
政策体系	総画合計	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成
		施策	36	地域コミュニティの活性化
		管理コード		051236
	関連個別計画			本冊ページ
				87
担当部局		市民部		
施策の内容(番号)		113		115

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
113	地域における人と人とのつながりの醸成を図るための支援とともに、自治会などの地域コミュニティへの参加促進や地域のリーダー育成に向けた、地域コミュニティの活動や役割、必要性への理解を深めるための取組を進めます。	A	①	地域連携課
114	地域の実情や特性を踏まえ、地域づくり体制の構築に向けた支援を行います。	B	②	地域振興課 (久居、河芸、芸濃、安濃、香良洲、一志、白山)
115	地域住民が安心して地域活動が行える環境を整えるため、活動支援や集会所、コミュニティ施設などの地域活動拠点の形成を進めます。	A	①	地域連携課 /市民交流課/地域振興課(美杉)

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A	A	A			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり			
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成		管理コード	051236113
		施策	36	地域コミュニティの活性化		本冊ページ	87
	関連個別計画						
担当部局		市民部					
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		113	地域における人と人とのつながりの醸成を図るための支援とともに、自治会などの地域コミュニティへの参加促進や地域のリーダー育成に向けた、地域コミュニティの活動や役割、必要性への理解を深めるための取組を進めます。				

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
	担当課		何		決算額 (千円)	今後の方向性	
113-1	市民活動推進事業	協働のまちづくりの推進のため、先進的・特徴的な取組を行う市民活動団体等への活動支援	効	市民活動の推進のため、地域課題解決のための事業を実施する、市民活動団体の実施事業への支援を行う	◆ 市民活動事業の増加	◎	市民活動団体等への公益的な活動支援及び地域課題を解決するための事業に対する初期支援を行った。 申請数の減少に伴い、令和6年度から制度の見直しを行った結果、申請件数が増加した。今後も継続して支援を行っていきたい。
	誰		津市の地域課題を解決するための事業を実施する市民活動団体	◇ 事業の申請件数	◎		
担当課	地域連携課	何	市民活動団体による地域課題の解決の支援を行うことで、より住みよいまちづくりの推進を行う	852 (千円)	現状維持		
113-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
113-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
113-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

113-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
113-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
113-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
113-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	D	D	C	A	A	A			
今後の方向性	①	③	④	④	④	④	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051236114
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ	87
		関連個別計画				
	担当部局	市民部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	114	地域の実情や特性を踏まえ、地域づくり体制の構築に向けた支援を行います。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	○ 実施評価	
	担当課		何		◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
					決算額 (千円)	今後の方向性	
114-1	公有財産管理事業	地域活性化、文化振興、スポーツ振興活動を行う団体に活動拠点を提供する(旧波瀬小学校、旧大井小学校、旧大井幼稚園)	効	活動拠点を提供することにより、地域活性化や文化振興などの目的を達成できる	◆ 5団体に使用許可	○	地域住民活動や地域行事に旧小学校等施設が活用された。 建築基準法の不適合状態により、各団体には活動拠点の移転を依頼し、一部団体については令和6年度中に退去された。 団体退去後の施設の維持管理等が懸案事項である。
	誰		波瀬まちづくり協議会、大井町づくり委員会、津レスリング協会、手織りグループしおり、和太鼓集団鼓司	◇ 地域行事等の開催件数	○		
	地域振興課(一志)		何	地域の各分野で活動する団体が、地域と協力しながら、地域の活性化のために活動できる	0 (千円)	見直し	
114-2	公有財産管理事業	学校法人に活動拠点を提供する(旧大井小学校)	効	高齢化が進む地域住民と学生が交流することにより、地域を活気づかせる	◆ 一志学園高等学校の生徒が地域のイベントに参加	○	一志学園高等学校の生徒が、町づくり団体や公民館と共に地域の文化祭・防災訓練を実施し、地域住民と交流した。 生徒との交流は地域住民の活動意欲向上につながるため、今後も引き続き相互交流をはかれるよう、施設を提供していく。
	誰		学校法人玉村学園(一志学園高等学校)及び大井地区住民	◇ 地域行事等への参加回数	○		
	地域振興課(一志)		何	地域内に学校ができることで、地域と協力しながら、地域の活性化のための活動を行うことができる	0 (千円)	現状維持	
114-3	いちし夏まつり事業	いちし夏まつり実行委員会に対する補助	効	地域住民が交流しまつりを楽しんでもらうことにより、地域の活性化、地域力の向上が図られる	◆ 一志地域の活性化、地域力の向上が図られるイベントへの支援	×	令和6年度は台風のため中止となった。事業見直しにより夏まつりとふれあいまつりを一本化した。一志地域にある飲食店の出店、ステージ発表、花火、盆踊りなどで地域の活性化、地域力の向上が図られることから、今後も継続して実施していく。
	誰		一志地域住民	◇ 来場者数	×		
	地域振興課(一志)		何	今後もイベント継続の支援を行うことにより、中・長期的に一志地域のまちづくりを推進することに寄与できる	1,368 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和6年度分)

114-4	地域活性化事業	榊原地域の新たな魅力創出事業を実施する榊原の地域振興を考える会に対する補助	効	地域資源を活かした地域振興	◆	地域の魅力を創出する活動への支援	◎	令和6年度より最長3年間で地域の活性化事業に取り組み、地域が自立して事業を継続することを目指すしている。 地域の情報発信、自然活用、交通、食について、それぞれ地域で部会を立ち上げて、取り組んでいる。(R6年度イベント28回、R6年度会議27回) 今後2年以内で、地域が自立して活性化に向けて活動していけるよう、取り組んでいく。
	地域振興課(久居)		誰	榊原地域全体	◇	イベントの参加者数	○	
			何	地域全体で事業を実施し、地域の魅力を創出することにより地域振興が図られる	1,000 (千円)	現状維持		
114-5	地域交流支援事業	地域住民の交流を促進するとともに、安濃地域の伝統・文化の継承に寄与する事業に対する補助	効	地域住民の交流を促進するとともに、安濃地域の伝統・文化が継承される	◆	安濃地域の伝統・文化の継承に寄与する事業への支援	○	安濃地域の伝統・文化の継承に寄与された。 地域に親しまれている事業であるが、実行委員の高齢化、人員不足及び物価高騰による資金不足等により、継続実施が困難となる可能性があるため、事業について見直しが必要である。
	地域振興課(安濃)		誰	安濃地域住民	◇	地域住民の交流、伝統・文化の継承	○	
			何	地域住民の交流を促進するとともに、安濃地域の伝統・文化の継承に寄与する	3,600 (千円)	見直し		
114-6	フェスタinかわげ事業	フェスタinかわげ実行委員会に対する補助	効	河芸地域の特性や資源、魅力を活かした地域振興及び交流促進	◆	河芸地域の特性や資源、魅力を活かした地域振興及び交流促進の契機として開催するイベントへの支援	◎	河芸地域を代表するイベントへの支援として実施。イベント開催へ向け、広報・受付案内、物品販売、ステージ発表、体験イベントについて、それぞれ部会を立ち上げ、取り組んでいる。 今後も引き続き、河芸地域住民の交流が図れるよう、事業実施を支援していく。(令和6年度) 開催日 11月24日 会議開催回数 41回 参加団体等数(うち河芸地域) 物品販売 14(7) ステージ発表 12(11) 体験イベント 9(8) 来場者数 3,500人
	地域振興課(河芸)		誰	河芸地域住民	◇	出店・出演・体験イベント出展参加団体等のうちの河芸地域の比率	○	
			何	中・長期的に河芸地域のまちづくりを推進することに寄与できる	297 (千円)	現状維持		
114-7	げいのう子どもまつりサマー・ウィンター事業	げいのうハロウィン実行委員会に対する補助	効	芸濃地域の特性や資源、魅力を活かした地域振興及び交流促進	◆	芸濃地域の活性化を目指し、住民参加型のイベントを行うことによりまちづくりを推進する契機として開催するイベントへの支援	○	以前実施していたGeino Xmas事業と同じ目的を持った事業として事業実施団体の世代交代を図り、昨今、地域住民の間が希薄になっている中、このようなイベントを行うことにより、地域住民同士の交流が深まり、住民がより暮らしやすい環境づくりに寄与できた。(令和6年度) 開催日 10月27日 来場者数約1,200人
	地域振興課(芸濃)		誰	芸濃地域住民	◇	来場者数	○	
			何	今後もイベント継続の支援を行うことにより、中・長期的に芸濃地域のまちづくりを推進することにより寄与できる	3,600 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

114-8	地域交流支援事業	ふれあいのかおり実行委員会に対する補助	効	香良洲地域の特性を活かした地域振興及び観光振興の活性化	◆ 補助1件	◎	香良洲地域を代表するイベントへの支援として実施。 事業の見直しに伴い予算が削減され、自己資金の負担が増加していくが、実行委員会が継続してイベントを行うことができるよう、引き続き事業に取り組んでいく。 (令和6年度) 開催日 10月6日 来場者 約1,800人
	誰		市内外住民	◇ 来場者数	◎		
	地域振興課(香良洲)		何	今後もイベント継続の支援を行うことにより、香良洲地域の振興が図られる	1,800 (千円)	現状維持	
114-9	地域交流支援事業	宮踊り実行委員会に対する補助	効	伝統芸能文化の継承及び促進を図り、地域振興及び観光振興の活性化	◆ 補助1件	◎	香良洲地域の伝統芸能文化の継承支援として実施。 人口減少が進むなか継承が危ぶまれているが、担い手、指導者それぞれの後継者を育成しており実行委員会においても今後の継承方法について検討を行っている。 (令和6年度) 開催日 8月15日～16日 来場者 約3,500人
	誰		香良洲地域住民及び市内外住民	◇ 来場者数	◎		
	地域振興課(香良洲)		何	今後も継続支援を行うことにより、香良洲地域伝統芸能文化の継承が図られる	1,800 (千円)	現状維持	
114-10	地域交流支援事業	ふれ愛フェスタ実行委員会が実施するイベント事業に対する補助	効	地域内外の交流促進及び観光資源PR	◆ イベント参加団体数	○	約2,000人の来場者があったものの、令和5年度の来場者は約3,000人であったことから、事業評価を△とした。白山地域の観光名所や特産品の紹介、販売及び体験イベント、ステージにおける文化芸能団体が発表を行うことで、地域の情報発信及び地域内外の交流促進を図ることができた。今後も引き続き、白山地域の活性化が図られるよう、事業実施を支援して行く。
	誰		白山地域住民	◇ イベント来場者数	△		
	地域振興課(白山)		何	地域住民主体のイベント実施を支援して促進することにより、シビックプライドを醸成し、地域の活性化を図る	3,600 (千円)	現状維持	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上～100%未満) △=計画を下回った(50%以上～80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さるなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	A	B	B			
今後の方向性	①	①	①	①	①	④	②			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和6年度分)

1 計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	12	つながり広がるコミュニティの醸成	管理コード	051236115
		施策	36	地域コミュニティの活性化	本冊ページ	87
		関連個別計画				
	担当部局	市民部				
	施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果	115	地域住民が安心して地域活動が行える環境を整えるため、活動支援や集会所、コミュニティ施設などの地域活動拠点の形成を進めます。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	◎ 実施評価	
	担当課		何		◇ 事業評価の主な視点	◎ 事業評価	
115-1	集会所建築等補助事業	自治会が実施する集会所建築・修繕に対する補助	効	自治会が集会所を新築、増築、改装、修繕、又は取得する	◆ 自治会の補助申請に基づき適宜実施(新築1件、修繕13件)	◎	事前届の提出のあった全ての自治会に対し、補助金の交付ができた。自治会が行う集会所の建築等に対して支援を行うことは、地域におけるコミュニティ活動の推進に寄与できるため、今後も継続していきたい。
	誰		住民の地域活動の拠点として本市の区域内に存する自治会	◇ 補助金交付件数	◎		
担当課	地域連携課	何	住民相互の連携意識の高揚を図り、健全な地域社会の形成に寄与する	17,337 (千円)	現状維持		
115-2	会館整備事業	(仮称)安東コミュニティ施設の整備	効	地域コミュニティ促進のための集会所を整備する	◆ コミュニティ施設の整備	◎	安東地域のコミュニティ活動推進のための集会所の整備に向けて、計画どおり進めることができた。施設完成後の令和6年7月15日には落成式を行った。
	誰		市民	◇ 整備の進捗度合	◎		
担当課	市民交流課	何	地域コミュニティ活動を行う場を整備する	48,375 (千円)	完了		
115-3	自治会掲示板設置事業	自治会が設置する掲示板に対する補助	効	地域におけるコミュニティ活動を促進する	◆ 自治会の補助申請に基づき適宜実施(新築5件、取替4件)	◎	事前届の提出のあった全ての自治会に対し、補助金の交付ができた。自治会が行う掲示板の設置等に対し支援を行うことは、地域におけるコミュニティ活動の推進に寄与できるため、今後も継続していきたい。
	誰		住民の地域活動の拠点として本市の区域内に存する自治会	◇ 補助金交付件数	◎		
担当課	地域連携課	何	地域におけるコミュニティ活動を促進する	582 (千円)	現状維持		
115-4	地域コミュニティ形成事業	地域おこし団体との連携	効	地域おこし団体の活性化が地域の活力に波及する	◆ 負担金1件	◎	支援対象団体1者に対して計画どおり1者負担金による支援が出来たことから、実施評価及び事業評価を「◎」とした。団体の取り組みへの支援は継続しながら、団体の活動方針の見直しを図っていただく。
	誰		地域住民	◇ 地域おこし団体の取り組み支援	◎		
担当課	地域振興課(美杉)	何	地域コミュニティの維持と活性化	440 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和6年度分)

115-5	地域おこし協力隊事業	地域おこし協力隊の募集	効	地域おこし協力隊の地域活動により地域コミュニティの活性化を図る	◆ 地域おこし協力隊員の採用	○	県の伴走支援事業の採択を受け、隊員2名の募集を行った。募集計画2名に対し、1名の採用となったことから、事業評価を△とした。
	地域振興課(美杉)		誰	地域住民	◇ 採用数2名	△	
何	規模を問わない地域コミュニティの活性化	0 (千円)	拡充・充実				
115-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
115-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
115-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	A	A	A	A	A			
今後の方向性	①	①	①	①	①	①	①			

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

